



岡山県立岡山東商業高等学校

同窓会会報

(翠光会)

第10号 令和5年2月15日発行

岡山県立岡山東商業高等学校同窓会
<http://www.dosokai.ne.jp/higashisho/>
 TEL・FAX 086-271-3636
 デザイン・印刷 株式会社サラト
 題字 東商12期 有瀬加子(芳心)



— 野球部国体優勝への軌跡 —

今から50年前といえば半世紀前のことになりますが、同窓生の皆さんはご存知の通り1971年（昭和46年）10月に和歌山県で開催された第26回秋季国体において母校野球部が全国優勝を果たしました。本来はこの記念の年は2021年（令和3年）になるのですが、近年のコロナ禍の中で同窓会総会も中止としましたので一年延期しての昨年の開催となりました。

戦績としては、1回戦／普天間（10-3）・2回戦／市和歌山（4-1）・3回戦／磐城（6-5）で勝ち進み、決勝戦で報徳学園を（5-4）で下して見事優勝！この国体優勝50周年を記念して同窓会記念行事として、当時の監督（向井正剛さま）をお迎えして当時の場面を振り返るトークショーを企画開催しました。

夏の甲子園ベスト4入りしてから国体優勝までの戦績は前方2面の大型スクリーンにスライドショーにて紹介され、その実力と勢いをもって挑んだ秋季国体優勝当時のメンバーの23期メンバーをはじめとしてその時のパッ

クを支えてきた、24期・25期の後輩たちも加わって思い出話や裏話(?)なども飛び出して、当時の向井監督の意外な選手起用術の秘話や柔軟な発想に富んだ作戦に改めてあの時の、緊張感と集中力を感じ取ることができました。

また、個性派ぞろいのメンバーの最後を締めつけたのは、日頃の地道な練習から得られた成果以外に何物でもないという無言の証であったのは言うまでもありません。

女性の司会による、向井元監督と選手たちへの掛け合いにより今だから聞けるあの時の心境など貴重な話を聞き出すことができ、とても面白く楽しい時間を参加戴いた皆さんで過ごすことができました。最後に印象的だったのは向井元監督の「技術もマナーも日本一を目指してやって来た。野球を通じての人格形成の道でもあった」とおっしゃった言葉に重みを感じました。この輝かしい活躍は母校の榮譽として永く後世まで語り継がなくてはならないと思います。



ご挨拶



同窓会会長 澤根 育生

同窓会会員(翠光会会員)の皆さま、遂に会報第10号が発刊となりました。元会長の武田さん時代(2011年/平成23年12月)に創刊され、前会長の石川さんと執行部を中心に、皆さまのご協力により今まで引き継がれて参りました。当初は隔年発行でしたが現在では毎年発行しております。しかしながら課題もあります。せっかく発送しても会報など見たことが無いという方や、全く読まれていない方もいて協力金の「納入率は4%以下」という状況です。会報は同窓会で住所が判明している方全員に発送しております。届いていないという方は、住所不明になっている可能性がありますので声を掛け合ってみてください。また、会報代が高いという声もありますが本件に関しましては同窓会として毎回50万円を負担している状況であり、今後の皆さまの協力金の納入率が上がって来ますと引き下げの可能性も出てきますが、現在の状況ではそこまで到達するにはまだまだ時間が掛かります。どうか同窓会の皆さまの温かいご理解・ご協力を切にお願い申し上げます。

また、昨年9月の常任幹事会において同窓会の愛称を「翠光会」に

と提案をさせていただき承されましたのでお知らせしておきます。ご存知の様に校歌冒頭の「翠の光…」です。母校では、翠光祭(体育の部・翠光祭一文化の部とも呼ばれ、東商40期代以降の同窓会はこの名前に慣れ親しんでいます。また、関東支部では「関東翠光会」として昨年10月に総会が開催されました。正式名称は変わりませんが愛称としてこの呼び名が皆さまの中に根付くことを期待しております。

次に、創立130周年(現在124年目)記念事業としての「クラブハウス(部室)整備プロジェクト」についてですが、目標5,000万円に対して12月末までに約500万円が集まったと聞いております。まだまだ遠い目標ですが、プロジェクトのことを知らない会員が殆どです。2万人を超える会員に賛同いただき岡山県に「学校(=東商)を指定して納入(寄付)」していただければ法人・個人を問わず共に寄付金控除として節税にもなります。今回の会報送付と同時に資料が同封されていますので、是非ともご覧ください。

願えばかりで恐縮ですが、昨年は同窓会総会も3年ぶりに開催され、母校の学校行事や部活動も再開されつつあります。今こそ我々同窓会の力を結集させて、ゆっくりでも力強く、着実に行動しようではありませんか！今後ともご理解・ご協力をいただけます様よろしくお祈りを申し上げます。



校長 森山 泰幸

同窓会の皆様方には、本校教育の充実発展のために、物心両面にわたり温かいご支援をいただいておりますことに対して深く感謝申し上げます。また、6月に開催された同窓会総会及び10月に開催された関東支部総会では、大変多くの同窓生の皆様から激励の言葉やご寄付等をいただきありがとうございました。皆様方からいただきましたご支援は、今後の学校運営に活かしていく所存です。

さて、今年度の入学生より、ビジネス創造科(総合ビジネスコース)に起業・継業類型を新設いたしました。起業・継業類型を選択した生徒は、3年生の商業科目「商品開発」・「観光ビジネス」等の学習内容により、ビジネスプランを作成できる能力や起業家精神の育成等を図っていきます。

生徒の学校生活の様子を少し紹介させていただきます。ウィズコロナのもとで感染症対策を十分に行いながら、授業、部活動、学校行事等について実施しています。授業では、昨年度入学生から一人一台端末としてiPadを導入し、調べ学習やグループ学習での活用、予習や復習のための動画視聴等での活用を行っています。また、コロナ禍でも学びを止めないために、新型コロナ感染症に関することで学校に登校できない場合等、オンラインによりすべての授業を動画配信しています。部活動では、練習時間や県外チームとの練習試合、大会観覧者の入場制限等はありませんでしたが、地区大会や県大会は予定通り実施されました。全国大会へは、男子バレーボール部、卓球部、陸上競技部、ボート部、写真部、書道部、珠算部、コンピュータ部、ワープロ部が出場しています。学校行事では、倉敷商業高校との定期戦を3年ぶりに開催しました。すべての生徒が初めての体験となり、事前準備や応援合戦等で戸惑うこともありました。過去の動画や先生方の指導により、歴史に残る素晴らしい

定期戦となりました。部活動対抗戦では、大接戦となりましたが8勝7敗で辛くも逃げ切り、通算44度目の総合優勝を飾りました。翠光祭(体育の部・文化の部)では、3年ぶりに保護者の方々に来場していただき、「陽気端麗～豪華絢爛～」のテーマのもと開催しました。文化の部では、人権や多様性に関する内容をステージ発表し、体育の部では、各種競技や応援合戦において熱戦を繰り広げました。また、第29回を迎えた東商デパートでは、新型コロナウイルス感染症対策を十分行い、岡山ドームにおいて3年ぶりに入場制限なしの対面販売を実施しました。当日は、約4,600名のお客様にお越しいただきました。当日お越しいただいた同窓生の皆様、たいへんありがとうございました。

学校施設の整備についてお願いをさせていただきます。本校の特色である部活動を推進するため、昨年度から部室の改築に向けたご支援をお願いしています。本校の部室は昭和38年に建築され、全国優勝をはじめ輝かしい歴史と伝統が刻まれた、卒業生の皆様の思い出の場所となっています。建築から50年以上が経過して建物の老朽化が進み、環境面では自慢できる建物とはとてもいいがたいものになっています。一刻も早く県の予算等で改築を進めたいところですが、県の財政状況では多額の予算的措置は困難であり、この度はふるさと納税制度を利用し広く募集を募り、学校を指定した寄附により改築を行います。詳細は別紙をご覧ください、会員の皆様にも趣旨をご理解いただきご支援いただければ幸いです。


終わりに本校同窓会のますますのご発展と、会員の皆様方のご健勝を心よりお祈り申し上げご挨拶とさせていただきます。




同窓会事務局から寄附のお願い

私達もこのプロジェクトを応援しています!!

岡山東商業高校の部室については、老朽化が著しい状況になっております。そのため、本校では、部室の改修整備に向けて、「クラブハウス(部室)整備プロジェクト」を立ち上げ、皆様の支援を募っております。この事業は、ふるさと納税制度の対象となるため、寄附金額から2,000円を差し引いた金額が、支払うべき税金から控除を受けることができます。同窓会としても、積極的にバックアップして参りたいと考えております。2,000円の自己負担で、母校の教育環境の整備に役立てることができます。詳細につきましては、チラシを同封しておりますので、ご覧ください、ご協力よろしくお祈りいたします。なお、ご不明な点は、岡山東商業高校事務局(086-272-1237)までお問い合わせください。



(5期)八名 信夫



(17期)平松 政次

『懐かしの恩師』を訪ねて…



みやけ
屯倉 紀正 先生

- 生年月日：1940年(S15)11月24日
- 在任期間：1964年(S39)4月～1972年(S47)3月
- 担当教科：保健体育
- 部活動：柔道部
ボート部

- Q:おいくつになられましたか？
昭和15年11月24日生れなので82歳になりました。
- Q:全くお元気に見受けられますが…？
岡大の柔道部で体は鍛えていたが、平成13年の退職後に大腸・肝臓・心臓などあちこちが悪くなり様々な手術をして来た。
今は何とか元気で暮らしています。
- Q:その後はどうされていましたか？
出身は現在の岡山市東区の東端(旧：邑久郡大宮村)という所で父親が神職であり、4人兄弟の長男だったので後継ぎの為に退職してから勉強して宮司の資格を取って現在も祭事を行っています。
- Q:東商時代の思い出が沢山あると思いますが？
昭和39年に新任で入って昭和47年まで8年間を東商に勤務しました。
1965年(S40)4月の甲子園優勝の祝賀パレードに生徒達と一緒に警備用の自衛隊のトラックの荷台に乗って市内をパレードをした時に警備を担当し

たが、市内中が物凄い人出だったのをよく覚えています。
面白いのはサウジアラビア大使館から「砂」が送られて来た事！
1970年の出来事で、当時は大阪万博が開催されている期間中に見たテレビで甲子園出場選手がグラウンドの汚れた砂を持ち帰っている場面(当時開催中の甲子園第52回大会に母校が出場していてテレビに映ったものと思われる?)を見て、不思議なことをすると思ったサウジアラビア大使館より、サウジアラビアの「砂漠のきれいな砂」を本校に送って来られたのが話題になりました。
こんな面白いエピソードを皆さんに是非ともお伝えしたかった。

【後日談として：森山校長より】

校長室に飾ってある、様々なカップの中に「サウジアラビアの砂」が入っているのは分かっていたが…何故、こんな物がここにあるのかいつも不思議に思っていた！？今回の恩師インタビューにより長年の謎が遂に解けたし、壮大な背景の話に本当に驚きます。

本校の学科とコースについて

(1) 商業科 1年 各8クラス (定員 320名)

平成11年度入学生より、くくり募集制度を導入しており、1年次は全員、基礎的な商業科目を共通に履修します。そのため、1年次は全員「商業科」となります。2年次から、一般入学者選抜の合格者は、本人の能力・適性・興味・進路等により、下記の学科・コース(類型)を選択して学習します。(特別入学者選抜の合格者は、原則として2年次より当該学科に進級します。ただし、ビジネス創造科で合格した生徒は、3つのコースから選択します。)

(2) ビジネス創造科 2・3年 各6クラス (定員 各240名)

地域経済の発展に貢献するビジネスリーダーとして必要となる基本的な能力の育成を目指します。

① アドバンスコース(1クラス)

商業の学びを生かし、国立大学や難関私立大学等への進学を目指します。進学に必要な英語や国語の授業も充実しています。

② 会計ビジネスコース(1～2クラス)

高度な簿記会計の知識をもとに、企業の経営感覚を身に付けた会計のスペシャリストを目指します。

③ 総合ビジネスコース(3～4クラス)

企業や地域と連携した取り組みで、起業意識を持ち、社会課題を解決したい生徒が学びます。

【起業・継業類型について】

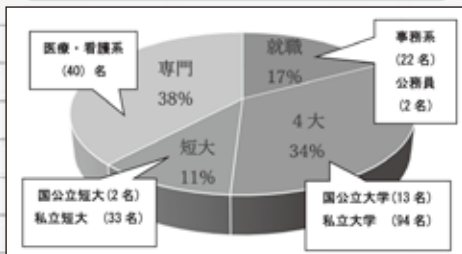
3年次に「商品開発と流通」「観光ビジネス」の両方を選択した生徒が対象です。地元商店街や地元企業と連携した取り組みなど体験的な授業が多く、ビジネスにおける実務的な能力やビジネスプラン能力を養うことを目指します。

(3) 情報ビジネス科 2・3年 2クラス (定員 各80名)

1人1台端末 (iPad) とリンクした最新の情報機器を活用した実習により、デジタルデザインを学び、ポスターやWebページなどの作品制作をしたり、プログラミングやネットワークに関するコンピュータの専門知識や技術を習得したりします。企業活動のIT化に対応できる能力を身に付け、職場での情報化を推進するリーダーとして活躍できるスペシャリストを目指します。

令和3年度卒業生進路状況

(就職:17%) (進学:83%)



令和3年度卒業生は入学当初より進学希望が多かったこともあり、就職が17%という数値になりました。本校への求人票数は令和2年度同様の水準であり、生徒が希望する企業への受験はほぼ行うことができました。

進学については高学歴志向で四年制大学への進学が100名程度、資格取得志向で専門学校への進学も120名程度となりました。国立大学・短期大学の合格者は15名でした。

オープン スクール

夏休みに実施した第1回オープンスクールは、参加した約500名の中学生を【午前の部】【午後の部】の2回に分け、学校紹介については、体育館では行わず、各HR教室にてオンラインで行いました。学科・コース説明、進学や就職に関する進路情報、在校生が主体となって行う体験講座(簿記、情報処理、マーケティング)をとおして直接話をする機会も設けています。生の情報を体験から得ることができ、学校選びの判断材料となる大きな行事の一つです。第2回オープンスクールは、本校の授業風景を見学後、部活動を体験してもらいました。また、今年度新たに10月土曜日の2日間、部活動体験会を実施しました。



(第69回) 倉商定期戦

総合グラウンドで倉商定期戦が行われました。ここ2年間は新型コロナウイルス感染拡大防止のために中止になっていましたが、今年は無事開催することが出来ました。開催式のエール交換では、東商生徒会長の「倉商さん、声が小さいですね」という煽りから一気に盛り上がり、力一杯の拍手での応援が始まりました。生徒会長の煽りのおかげか(?) 続く応援歌「桃太郎」「パラ銀」でも倉商を圧倒していました。そして競技が始まりました。どの競技も熱戦が繰り広げられましたが今までの努力が実を結び、スコア23対22で激闘の末に勝利を手にしたのは東商でした。止まっていた歴史を再始動するための、いいスタートが切れたと思います。

◆ 翠光祭(文化の部)

翠光祭文化の部が9月27日から28日の2日間で行われました。総合開会式を終え、まずは吹奏楽部による演奏とダンスが始まりました。コンクール曲からJPOPまで、幅広いジャンルと美しい音色で生徒たちを楽しませてくれました。また、ダンスもいれていて最高の仕上がりになっていたと思います。次に今年度は模擬店の代わりに各チームが作ったPR動画を鑑賞しました。PR部門での優勝は青チームでしたが、どのチームのPR動画もチーム一丸となって工夫されていました。また、チーム関係なくダンス部と書道部の発表もありました。どちらの部活も気合いの入ったパフォーマンスで観客たちを盛り上げてくれました。この2日間を通し、学年の壁を越え学校全体で一致団結することが出来たと思います。3年生にとっても初めてのほとんど縮小されずに行う翠光祭でしたが、最初で最後の翠光祭にふさわしく素晴らしいものとなったのではないのでしょうか。

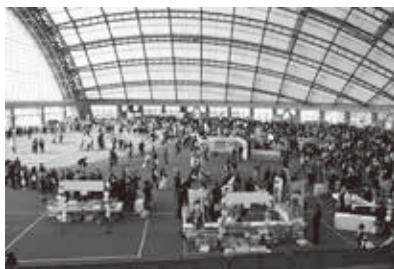


◆ 翠光祭(体育の部)

規模縮小のない完全体となる翠光祭体育の部が3年生は最初で最後となる翠光祭をとても楽しんでいるように見えました。各チーム豪・華・絢・爛というテーマのもと学年の壁を越えて、翠光祭を作り上げていました。各チームの応援合戦では夏休み前から3年生や、ダンス部の人達が応援の部の1位を取るために、試行錯誤をして頑張っていたおかげでどのチームも迫力がありました。その中で1位を取ったのは黄色チームでした。また各学年の競技では、1年生は綱引き・2年生は八の字縄跳び・3年生は棒もちリレーをしました。どの学年も笑顔を絶やさず勝負に挑んでいてとても良い雰囲気でした。翠光祭りレーでは他の競技とは打って変わってどのチームも本気で勝ちを取りに行きました。今年の翠光祭体育の部の結果は紫チームが総合1位になりました。来年はどのチームが1位になるのか楽しみです。



第29回東商デパート



今年の東商デパートは規模を縮小せず、例年通りの開催となりました。手指消毒や換気などの新型コロナウイルスの対策は行われていましたが、人数制限などが解除され多くの人でにぎわいました。どのお店にもそれぞれ個性があって、普段学んでいる商業の知識ビジネスマナーを、東商デパートという場で発揮できていました。新型コロナウイルス禍のなかで、来場者数は約4,600人と昨年より多くの方々がお越しになり少し混乱する事もありましたが、デパート執行部の人達の力もあって大きなトラブルもなく、無事に開催することができました。また来年も多くの人で賑わう東商デパートになる様に頑張ります。



【社長コメント：第29回東商デパート 取締役社長 阿部美晴】

今年はコロナ禍前のような大規模開催を目指す第一歩として、この2年間のような入場制限は行いませんでした。

テーマは「笑店」です。テーマはデパートの指針であるため覚えやすく、意識することで、お客様に東商生らしい笑顔をお届けするとともに、実際の店舗スタッフの方と同レベル

での接客、サービスで対応できるような心がけて欲しいという思いを込めました。当日は天候にも恵まれ約4,600人という来場者数で、大きなトラブルもなく盛況に無事販売実習を終えることができたことを嬉しく思っています。

部活動(文化部)

ESS

顧問: 荒木 和子

現在部員(19名)で、これからの「グローバル社会」に対応できる様な日常会話など授業では習わないスピーチを練習しています。最近ではオンラインで海外の仲間達との交流にも取り組みながら日々活動しています。

演劇部

(部長) 2年: 安川 佑奈

私達演劇部は現在、部員数4名! 新型コロナウイルスと向き合いながら、それでも活動を止めずどんな時も前を向いて努力をしています。今年も、先生方や保護者の方など、多くの方々のご理解とご協力の上で大会が開催され、上演出来た事に感謝しています。本当に有難うございます。私達演劇部は、11月12日、13日に行われた岡山県大会に地区代表として出場しました。有難いことに優秀賞を頂き、次は岡山県代表として山口県下関市で行われる中国大会に出場します。今回、上演した台本は「モンタージュ・はじまりの記憶」。一人の人間の記憶と人生の作品です。様々な困難にも立ち向かい、自分達の活動を止めずにできることを毎日少しずつ続け、その結果、中国大会への切符を頂く事ができました。周囲への感謝、そして今感じている達成感は何にも変えられない大切なものです。私達は、更なる高みを目指して仲間達と共に成長していきます!

華道部・茶道部 顧問:平谷 亜由子(華道)・黒田 桂子(茶道)

華道部(3名)茶道部(12名)で構成されていますが、どちらも月/2回の集合練習をしています。季節毎の会などの対外的活動の機会が殆ど無いので手前を披露する場面がありませんが、その時に向けて練習に励んでいます。

コンピュータ部

顧問:横田 泰子

3年生3人・2年生3人・1年生2人の計8人で活動しています。活動内容は主に全商情報処理検定1級や国家資格である、ITパスポートや基本情報技術者試験などの資格取得と年2回ある競技会に出場するための勉強です。今年度は全国高等学校情報処理競技大会に出場し、団体・個人とも第4位に入賞することができました。

写真部

顧問:山根 三幸

本校の写真部は、約60名の部員で週3回活動しています。活動内容は、学校行事の記録や写真コンテストに向けての作品づくりです。

写真コンテストでは、高等学校写真協議会のコンテストに出展しており、10年連続で全国大会に出場しています。

- ・第36回高等学校写真協議会夏期コンテスト(推薦)1名(特選)4名(入選)5名
- ・第45回全国高等学校総合文化祭(東京大会)(令和4年8月2日(火)～8月4日(木))

参加者は3年服部綾乃・2年吉田葵が撮影会や生徒交流会などに参加しました。

珠算部

顧問:藤原 由美

珠算部は3年生5人・2年生3人・1年生2人で活動しています。今年度、珠算の部は団体で出場、電卓の部は個人で全国大会に出場しました。個人で珠算の部では、読上暗算競技で優良賞、読上算競技で佳良賞を勝ち取ることができました。今後は、全国大会で優勝すること、珠算の部団体が岡山県初入賞を目指し練習に励んでいきます。



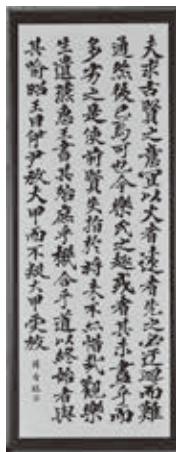
書道部

(部長)3年:磯部 愛結

【主な成績】

- ・第46回全国高等学校総合文化祭(とうきょう総文)出品 3年 金島萌花
- ・第2回全国高校書道パフォーマンスグランプリ東中国大会 準優勝
- ・第68回岡山県児童生徒書道展 高等学校書道連盟会長賞 3年 高倉彩加

私たち書道部員36名は、臨書を中心とした作品制作と書道パフォーマンスの活動を主にしています。マスクをつけての日々の書作や書道パフォーマンスなど通常の活動に戻るまでにはもう少し時間がかかりそうですが、「夢は逃げない」を合い言葉に、高校3年間の今しかできないことに力一杯取り組んでいます。来年こそは、夢実現のため、部員一丸となって頑張ります。辛いときも笑顔で乗り切っていきますので、応援よろしくお祈りします。



新聞部

顧問:川井 江利香

部員(5名)で年/3回発行される校内新聞(東商新聞)を作成するために、様々な情報収集を行って見る人に見易い様に伝える事を念頭に置いて記事作成に取り組んでいます。

吹奏楽部

3年:花田 京香

吹奏楽部は今年度も1年の集大成となる第58回定期演奏会を岡山シンフォニーホールにて満員のお客様にご来場いただき、開催させていただくことができました。

一年間思うように活動できないなか、様々な本番を通して部員一人一人が成長した姿で定期演奏会のステージに挑めたと思います。

今後も最高の音楽を届けられるよう、最高の演奏を日々作っていききたいと思います。



ダンス部

顧問:大西 佳江

主な活動は、6月の第72回岡山県高等学校ダンス発表会、8月の日本テレビ「スッカリダンス ONE プロジェクト」への参加です。その後朝の全国放送番組「スッカリ」の番組内でダンス部の活動が紹介され、大きな反響がありました。また、青少年日本赤十字創設100周年「つながるダンスプロジェクト」への参加など、皆様に元気を届ける活動を行っています。

文芸部

顧問:高橋 めぐみ

文芸部は現在5名で活動しており、年に2回部誌『東山文芸』を発行しています。11月には高校生文芸道場中国ブロック大会が岡場で開催されました。岡山県出身の作家である天川栄人先生の講演や各分科会に分かれてのワークショップを通じて「みんなで書く」ことについての意義と具体的な方法を学びました。これからもより良い作品づくりを目指して創作活動に励みたいと思います。



放送部

顧問:大嶋 悟

放送部は、現在3年生1名・2年生1名の計2名で活動しています。活動は、発声・アナウンスや朗読の練習、お昼放送(リクエストミュージック)をしています。翠光祭や東商デパートなどの行事では、司会進行や場内アナウンス、音響、ビデオ撮影などを行っています。コンテストなどはNHK杯全国高校放送コンテスト岡山県大会に出場しています。コンテストを通して自分たちの課題を見つけ、成果が残るように日々練習に励んでいます。

簿記部

顧問:河原 美恵子

本年度の簿記部は、3年生7名・2年生7名・1年生10名で活動しています。全国大会出場を目指して、部員一丸となって取り組んできました。惜しくも、春の商業実務競技大会では、団体3位、秋の商業実務競技大会(A部門)団体3位(B部門)団体2位の成績でした。

しかし検定では、1年生7名が6月に日商3級を取得、3年生もほとんどの生徒が日商2級を取得し「Haul-A(ホールA)プロジェクト」=日商1級検定生=として上級試験に挑戦しています。

ワープロ部

顧問:小津野 純

現在ワープロ部は8名(3年生3名・2年生5名)で週6日活動を行っています。全商ビジネス文書検定1級を全員取得し、主に商業実務競技大会での入賞を目標に頑張っています。今年度は全国大会・中国大会にも出場でき、日頃の練習の成果が徐々に始まっています。



部活動(運動部)

剣道部

2年1組:仙石 遥翔

現在、剣道部は男子7名、女子10名、合計17名で活動しています。部全体で一丸となって一生懸命行っています。今年度は県総体で女子団体がベスト8に入りました。また、中国大会へは女子個人に2名が出場しました。先生やOBの方々のご指導のもと、正しい剣道を身につけられるよう、これからも頑張ります。



柔道部

顧問:坪田 祐一

現在柔道部は、男子3名・女子1名で活動しています。

東商44期のOB、坪田祐一が顧問をしています。少ない人数ですが全国大会・中国大会出場と入賞を目指して日々頑張っています。

コロナ禍で「東柔会」が開催できていません。OB・OGの子供たちも活躍しているので道場に足を運んでください。



ソフトテニス部

顧問:平松 知之

平素より、ソフトテニス部OB会・同窓会の皆様には現役部員を応援いただき誠にありがとうございます。今年度、男子24名・女子31名で活動しています。県大会団体戦ベスト8と倉商定期戦勝利を目標に頑張っています。部員全員で力を合わせて目標を達成し、皆様により報告が出来る様にしたいと思います。



ソフトボール部

顧問:高月 真二

前任の小林先生が春に異動になり、新体制で今シーズンを迎えました。春季大会以降、県内の4強のチームを崩すことが難しく、全体会でベスト8という結果に終わりました。3年生が引退して部員数は7名になりましたが、冬場のトレーニングで技術を磨き、メンタルの強さと体力を身につけ、来年度はベスト4以上を目指します。

卓球部

顧問:内田 欣吾

卓球部は男子9名、女子7名で武道場1階で練習しています。今年の1月に当時1年生の内田実佑さんが県大会で優勝し、3月の全国選抜大会に女子シングルスに東商としては3年連続出場しました。学校対抗戦については秋季大会では男子が6位女子が5位になりました。新人大会は女子がベスト4になり全国選抜の中国大会女子団体戦に出場します。応援の程お願いします。



男子バスケットボール部

顧問:星野 和希

主な成績 県大会出場

現在21名で活動しています。県大会ベスト8を目標に日々練習に励んでいます。今年度は、2年ぶりに県大会へ出場することができました。結果は倉敷商業高校と対戦し初戦敗退でしたが、倉敷商業高校との定期戦では勝利しリベンジすることができました。新チームでは「元気を与えられるチーム」を目指し活動しています。



女子バスケットボール部

顧問:星野 和希

主な成績 県大会ベスト8

現在24名で活動しています。岡山1番を目標に日々練習に励んでいます。今年度は、インターハイ予選、ウィンターカップ予選ともにベスト8で敗戦しました。目の前の結果だけではなく、「他喜力」をモットーに、「人の心を動かすチーム」を目指して今後も頑張っていきます。



バドミントン部

顧問:大隅 大志

令和4年度のバドミントン部は新入部員として男子18名、女子10名を加えた総勢55名で活動を開始した。5月に行われた岡山地区総体では男子が学校対抗戦で念願の優勝を果たし、女子も地区2位で県総合体育大会に出場した。新チームでは経験者が少ない中、研鑽を積み、これからの活動に期待が持てる状況です。

男子バレーボール部

顧問:米山 広起

- 令和4年度全国高等学校総合体育大会(バレーボール競技)岡山県予選会 優勝。
- インターハイ出場(決勝トーナメント1回戦)。
- 第75回全日本バレーボール高等学校選手権大会岡山県代表決定戦 優勝。
- 春高バレー全国大会出場。(3年ぶり34回目の出場) 全国大会で上位進出を目指し頑張ります。応援よろしくお祈いします。



女子バレーボール部

顧問:秋田 幸枝

- 令和4年度全国高等学校総合体育大会(バレーボール競技)岡山県予選会 第3位。
- 第75回全日本バレーボール高等学校選手権大会岡山県代表決定戦 第3位。岡山県一番を目指し頑張ります。応援よろしくお祈いします。



ボート部

顧問:石原 律子

主な成績 ・3年度末全国選抜大会 女子舵手付きクォドルブル第7位
・4年度 インターハイ 女子舵手付きクォドルブル第8位

今年度は男子14名、女子18名で頑張っています。インターハイでは徐々に順位を付けることができました。岡山県として女子の団体種目では初のことです。年度末に開催の全国選抜大会には女子舵手付きクォドルブルと男子ダブルスカルで出場します。最終日まで残れるよう少しでも先輩達の記録へ近づけるよう、頑張りたいです。



野球部

顧問:小林 幸男

現在部員は、3年生20名・2年生21名・1年生27名の計68名で「甲子園で校歌を歌う」ことを目標に日々の活動に励んでいます。令和4年度春季岡山県高等学校野球大会ベスト4・第104回全国高等学校野球選手権岡山大会ベスト16・令和4年度秋季岡山県高等学校野球大会ベスト16。

陸上競技部

顧問:山本 靖宏

男子24名、女子28名、マネージャー5名、計57名で活動しています。今年度は女子800m・女子4×400mリレーで3年ぶりのインターハイ出場を果たしました。また、県大会では、総体において女子トラック優勝、中国大会では複数種目の入賞や15年連続で女子駅伝の出場を果たしました。インターハイや中国大会に出場した多くの選手が1、2年生に居ることから来年度も上位を目指し頑張りたいと思います。

～ 岡山東商業硬式野球部 創部120周年の歩み ～

- 【歴史】・1872年(明治5年)日本にベースボールが伝来
 ・1903年(明治36年)岡山東商業高等学校野球部 創部
 ・夏の甲子園大会は1915年(大正4年)、全国中等学校優勝野球大会(現在の夏の甲子園大会)開催。1924年(大正13年)には全国選抜中等学校野球大会(現在の春の甲子園大会)も始まった。
 ・2022年(令和4年)日本に伝来して150周年

【戦績】・主な戦績

大会名	出場回数等	最高成績	参考
春・選抜高等学校野球大会	8回 6勝7敗	優勝 (1回)	第37回・選抜大会優勝 (昭和40年)
夏・全国高等学校野球選手権大会	11回 11勝11敗	ベスト4 (2回)	第53回・選手権大会(昭和46年) 第60回・選手権大会(昭和53年)
秋・国民体育大会	5回 6勝4敗	優勝 (1回)	第26回・和歌山国体優勝 (昭和46年)



第37回・選抜大会優勝(記念碑)



第26回・和歌山国体優勝(記念碑)

現在、野球部は小林監督の下、平成18年(第73回選抜高等学校野球大会)より遠ざかっている甲子園への出場を目標とし、古豪復活の為、日々練習に取り組んでいます。明治36年(1903年)に創部した野球部は、令和5年(2023年)に創部120周年を迎えることとなります。

同窓会会員の皆様には2023年8月開催を予定しています創部120周年記念事業(記念試合・記念パンフレット(野球部120年の歴史、戦績)等)へのご支援、ご協力を何卒宜しくお願い申し上げます。

(東商43期 橋本真吾)

男子バレー部 創部100周年に全国大会出場!

1922年、山崎鉄雄先生が本校に赴任されバレーボールを教えるはじめて丁度100年の11月13日、全日本バレーボール高等学校選手権大会 岡山県代表決定戦(森山校長も会場応援)で見事優勝! 創部100周年の2023年1月4日開催の春高バレー全国大会へ3年ぶり34回目の出場を決めました。また岡山県に1920年、初めてバレーを伝えた山崎先生を称えて県選手権チャンピオンにしか与えられない「山崎杯」が3年ぶりに母校に帰って来ました。(写真参照) 100周年という記念すべき節目の年に誠に感慨深く、長年指導頂いた安藤先生・三尾先生、4月より引き継いだ米山監督の熱心な指導の下、歴史と実績のバレー部の伝統を現役選手が更に昇華してくれたおかげです。



3年ぶりに帰ってきた山崎杯

* (2023年 100周年記念事業として)

- ①2023年8月13日(日)
岡山プラザホテルにて記念式典実施。
- ②100周年記念誌発刊。
(久遠輝、60周年誌、75周年誌、発刊済み)
- ③記念試合 etc 予定。



100周年に全国大会出場を勝ち取った3年生9名

全国よりお世話になった多くのバレー関係者の皆様を招待し盛大に執り行いたいと考えています。OBはもとより寄付金、記念誌への広告掲載等々、何卒皆様のご支援を宜しくお願い致します。

(東26期) 小山 茂



(第47回) 東商同窓ゴルフ大会

昨年が続いて、コロナ禍の中の開催でしたので昨年同様に競技終了後の一堂に集まったの表彰式を取り止めにして「ハーフコンペ」という形で行いました。12期～68期までの幅広い年代層の方々の91名に参加いただき、先輩や後輩と年一回の顔合わせの場ですがゴルフという共通点で交流を深めました。結果は下記の通りです。各位の優勝おめでとうございます。

開催・・・ 令和4年10月5日(水)
 場所・・・ 赤坂レイクサイドカントリークラブ(赤磐市)

【結果】

個人戦	レディース	団体戦	ベスグロ(36)
石井恒敏 様(20期)	万波信子 様(19期)	20期	安井蓮三 様(20期)

22期は初めて幹事をさせていただきましたが、チームワークよく無事に終了することができましたこと、皆様のご協力に感謝申し上げます。来年も参加者が増えます様に同窓生の皆様に声を掛け合って奮ってご参加ください。
 22期幹事一同

近畿支部 「令和3年総会中止」 「令和4年度総会: 4年ぶりに開催予定」

昨年3月に予定していましたがコロナ感染が収まらず、誠に残念ながら3年連続での「開催中止」としました。同窓生相互の絆を深めるためにも年一回の先輩や後輩との顔合わせと、親睦交流を図りたいのですが中々開催できずの状況で申し訳ありません。昨年10月には「関東翠光会」が39年ぶりに復活開催されたとの事ですので近畿も今年こそは4年ぶりの開催を計画しています。同級生の皆さんお誘い合わせのうえご参加いただき、懐かしの母校の話で盛り上がりしたいと思います。

新しい方も参加いただいで同窓会の輪を広げるべく役員一同奮起して参りますので、是非ともご協力をいただけます様よろしくお祈いします。

◆令和4年度/近畿地区総会…

(開催予定日) 令和5年3月4日(土) 12:00～15:00

(開催場所) 神仙閣大阪店(駅前第1ビル/12階)

(支部長) 山本重則/17期

編集後記

長引くコロナ禍の昨今ですが、今年度は3年ぶりの総会開催を目指して会場側と充分なる感染防止対策を協議して、例年の様な賑わいと混雑を避けての縮小規模で開催となりましたので例年とは少し違った雰囲気となりましたが、メインテーマである「国体優勝50周年記念行事」として当時のメンバーにも集まりいただき楽しいトークショーが行われました。コロナ事情により出席を見合わせた方も沢山おられて残念だった処もありますが、出席された同級生との久しぶりの顔合わせを喜んでおられる姿を拝見しているとやはり同窓会は良いものだと痛感した次第です。各期の同窓会開催のニュースも入って来ず寂しい一年でしたが、学校行事の花形である「倉商定期戦」や「東商デパート」が3年ぶりに復活開催されて賑わいと活力を取り戻せたのは本当に嬉しいことでした。また、クラブハウス(部室)整備プロジェクトがスタートして2年目になりますのご厚意ある事業経営者や個人様などから「ふるさと納税」を通じて激励の寄付をいただいていることも、同窓会の皆様の母校に対する篤い思いの証であることに感謝申し上げます。一日も早くコロナ以前の様な活気ある世の中が戻って来ることを待ち望みつつ、6月の「第123回総会」が開催される予定ですので同級生の皆さんでお誘いあわせのうえ多数のご参加をお待ちしておりますので、今後とも母校・同窓会のご支援をいただけます様宜しくお願い申し上げます。

(事務局) 元宗三好/25期

第1回「関東翠光会」開催



2022年10月2日(日)新橋駅前「とっとり・おかやま新橋館」にて、第1回岡山東商・関東支部同窓会「関東翠光会」



を40名の同窓生にご参加戴き、コロナ禍の中盛大に開催致しました。改めて、多くの先輩諸氏にご支援を戴きました事を誌面をお借りして御礼申し上げます。

当日は、母校から、森山泰幸校長並びに澤根育生同窓会会長のご来席とご挨拶を戴き、多くの祝電(木下サーカス(株)・近畿岡山東商同窓会・(株)サラト、他)披露に続き、野球部OBで、日本プロ野球名球会、平松政次様(第17期)の乾杯ご発声で、関東翠光会の宴が始まりました。宴は、映像による母校在校生部活動の紹介、ピアノとヴァイオリンデュオの生演奏に続き、岡山の旬の果物(シャインマスカット)・岡山の名産・母校東商デパート等の商品を景品に、澤根会長司会による「ビンゴゲーム」が始ま

り、全員にお土産が届き大いに盛り上がりました。

宴の最後は、澤根会長のフルーツ、並びに国内外の音楽活動でご活躍の新田孝氏(第16期)の指揮で「岡山東商応援歌」を全員で斉唱、東京の中心地・新橋の地に「岡山東商高」のエールが高らかに鳴り響きました。年代の違う同窓会ですが、青春のあの時に思いを寄せ、来年の再会を約して帰路につきました。



関東翠光会は、2020年8月に母校同窓会事務局より、母校創立120年の節目に関東支部同窓会復活の要請を受け、山本龍治君(第25期)の声掛けに8名が参集、山本君は初代事務局長として関東翠光会の命名から開催に向けて中心的な役割をされました。一時体調を崩されて療養されていましたが、昨年2022年5月16日65歳の若さで、本日の翠光会の集いを見ずにご逝去されました。此处に山本龍治君に「関東翠光会」の開催を報告し、謹んでご冥福を祈りたく存じます。

最後に、母校同窓会本部の皆様には格別のご支援、ご協力を賜りました事を、重ねて厚く御礼申し上げます。



第123回同窓会総会開催のご案内(予定)

日時: 令和5年6月18日(日) 16時~18時
場所: 岡山プラザホテル/岡山市中区

※コロナ感染状況により「中止」する場合がありますのでご了承ください。